

えんちょう日記 第3回

「とりさん とんでる！」 ～心の動き・探求する心～

令和7年 7月7日

子どもたちが戸外へ出たときに楽しんでもらえるといいなと思い、園庭と未満児駐車場のフェンス2か所に風車（カモメ）を取り付けることにしました。

ある日のこと、テラスにいた子どもたちの視線の先には風車（カモメ）がありました。風を受けて羽根がクルクルと回転する様子をみながら、黄色カモメと水色カモメでは羽根の回る速さが違うことに気づいた子どもたち。指をさしながら、友だちに一生懸命に知らせています。風の吹き方や大きさはなかなか目では見ることができないので、風車を見てそれぞれに感じたことがあったのでしょう。

子どもたちは生活や遊びのなかで、「どうしてだろう？」「あれは何か？」・・・と思いがけない出来事に出会うことがあります。このような体験を通して子どもの心が動き、探求する心へとつながっていきます。そこには、ゆったりと過ごす時間や共感できる仲間がいることの大切さを感じました。

さて、明日のカモメは元気にとんでいるのでしょうか？これからも子どもたちと同じ風景をみながら共にワクワク・楽しい時間を過ごしていきたいです。



「とりさん、とんでるね～」
(風が吹いて羽根が回る様子を楽しむ)



「あれ？あっちのとりはビューンんって回ってる！」
(黄色、水色のカモメの羽根の回る速さの違いに不思議がる子どもたち)



こどもから始まる みどりから始まる
～生きる根っこを育む保育～

